

▶ ホーム

学会案内

▶ 概要

▶ 定款等

▶ 組織・役員

▶ 学会からのメッセージ

▶ 事務局・連絡先

市民の皆様へ

▶ 医療における放射線被曝

▶ 放射線科の紹介

▶ 放射線・原子力関連情報

▶ 放射線医学の歴史

▶ レントゲンの日

医学生・若手医師へ

▶ 若手医師・学生の皆様へ

平成16年度第7回理事会議事録

2006-6-1 16:51:00

日 時 : 平成16年10月27日(水曜日)
 場 所 : 京王プラザホテル4Fけやき 14:00~17:00
 出席者 : (理事)石垣武男、大友邦、隈崎達夫会長、久保敦司、杉村和朗、田村正三、西谷 弘、
 早瀬尚文、本田 浩、平岡真寛、松井修、宮坂和男、山田章吾
 (監事)伊藤勝陽、楢林勇
 欠席者 : (理事)池田恢、中村仁信

議題

1. 前回議事録の承認
 2. 第64回日医放総会について
 3. 専門医更新者および新規学術集会認定単位について
 4. 会計について
 5. 医学物理士試験結果について
 6. 放射線治療の品質管理に関する委員会から
 7. 日本医学放射線学会会誌について
 8. 泌尿器学会との合同研究会について
 9. ICRP会議について
 10. 基本領域学会による連絡会議について
 11. 研究助成金応募者について
 12. 第42回秋季臨床大会会長について
 13. 全国MRI装置施設設置における放射線科医勤務状況に関する調査について
 14. 会告の承認
- 11月号 第17回医学物理士認定試験結果
 新規学術集会認定申請単位決定等のお知らせ
 第19回腹部放射線研究会

報告事項

1. 委員会からの報告

議 事 :

1. 前回議事録の承認
 第6回理事会議事録(案)を承認した。
2. 第64回日医放総会について
 石垣会長より演題の登録状況、および準備の進捗状況、総会学術大会企画、特別・招待・教育講演等について報告がなされた。また、海外より演題申し込みが出されたのでInternational Session を設けることとした旨の報告がなされた。
3. 専門医更新者および新規学術集会認定単位について
 平成16年度放射線科専門医更新追加認定者についての報告がありこれを了承した。また、新規学術単位についての報告があり会告に掲載することが了承された。
4. 会計処理について
 隈崎会計担当理事より平成16年度専門医認定試験事業についての中間会計報告がなされた。専門医認定試験事業については、諸費用が未払いのもの

▶ 入会案内

▶ 会員のみなさまへ

- ▶ What's New
- ▶ 会員向けの情報
- ▶ 学会からの情報・ガイドライン
- ▶ 安全に関する情報
- ▶ 会報・会告
- ▶ 学会誌・出版物
- ▶ 学術大会(春・秋)
- ▶ 地方会案内
- ▶ 国際交流
- ▶ 関連学会集会
- ▶ 利益相反
- ▶ 専門医制度
- ▶ 医学物理士制度
- ▶ リンク集
- ▶ 電子放射線診療用語集

会員専用ページへ



閲覧には会員番号と
パスワードが
必要です



日本語

Search

もあり最終的な収支は出せないが、同事業については今期黒字決算になる見込みである旨報告がなされた。また、学会への新入会者が昨年の同時期より減少傾向にあること、同じように購読会員の減少がみられること、日本医学放射線学会雑誌への広告減少など、収入の予算が当初予定されていた額より減少が見込まれる旨の報告がなされた。

5. 第18回医学物理士試験結果について

山田理事より平成16年10月3日に行われた第18回医学物理士認定試験結果について123名が受験、うち80名を合格とした旨報告がなされた。また、医学物理士への申請については、平成16年度合格者のうち58名が申請、また昨年以降の合格者から9名が申請、合計で67名が平成16年度医学物理士として申請、この申請内容について10月26日開催の医学物理士認定委員会で審査を行った結果、62名を平成16年度の医学物理士として認定したい旨の報告があり、これを承認した。

6. 放射線治療の品質管理に関する委員会から

早淵担当理事より放射線治療関連学会及び団体(日本放射線腫瘍学会、日本医学放射線学会、日本医学物理学会、日本放射線技術学会、日本放射線技師会)で構成された委員会で継続審議されている放射線治療における医療事故防止のための安全管理体制の確立に向けての提言にむけての中間報告のまとめについて資料に基づき説明がなされた。また、委員会では、具体的な対策の一つとして放射線治療品質管理士制度を創設することとなった旨報告がなされ制度内容について資料に基づき説明がなされた。この内容は会報及びホームページに掲載することとした。

7. 日本医学放射線学会雑誌について

継続審議事項である日本医学放射線学会雑誌の英文誌発行についてシュブリンガー東京から出された案について説明がなされた。この件は他社の状況なども加え、条件内容など検討しながら継続審議事項とする。

8. 泌尿器学会との合同研究会について

杉村理事より日本泌尿器科学会、日本医学放射線学会、日本放射線腫瘍学会の合同による泌尿器腫瘍放射線研究会(GUTR)について、準備委員会を立ち上げることとなった旨の報告がなされ、準備のための運営委員会に日本医学放射線学会側から支援を頂きたい旨要望がだされ了承された。

9. ICRP会議について

平岡理事より10月10日～14日に開催されたICRP委員会の報告がなされた。

10. 基本領域学会による連絡会議について

遠藤理事長より日本内科学会、日本外科学会、日本病理学会、日本法医学会が中心となり提案された診療行為に関連した患者死亡の届出についての共同声明内容について、基本領域学会(医学放射線学会も含む)が賛同した件につき説明がなされた。この件については学会としても医療事故防止委員会が中心となり検討していくこととした。

11. 研究助成金応募者について

宮坂理事より今年度は8件の応募があり選考委員会で審査の結果、5名の会員の推薦が出された旨の報告がなされ、理事会で検討後、選考委員会から推薦があった中島崇仁君、巽光朗君、近藤浩志君、大田信一君、西野水季君以上5名が承認され、受賞者名はホームページで公表することが了承された。また、今年度より文部科学省の科研費応募資格が見直しされたので学会の研究助成応募者に関する規定についても応募枠を拡げるなど見直しを行うこととした。

12. 第42回秋季臨床大会長について

九州地方会より早淵尚文君(久留米大学)を推薦したい旨の提案が出されこれを了承した。この件については来年開催の総会に提案する。

13. 全国MRI装置設置における放射線科医勤務状況に関する調査について

大友理事より全国の主な大学に依頼し全国MRI装置設置における放射線科医勤務状況に関する調査を行った件について中間報告がなされた。放射線科

医の現状把握のために活用すべきである等意見が出され大友理事が中心となり検討することとした。

14. 会告の承認

11月号 第16回医学物理士認定試験結果(予定)

新規学術集会認定申請単位決定等のお知らせ

第19回腹部放射線研究会

報告事項

・ 宮坂国際交流担当理事よりカナダのモントリオールで開催されたICR2004についての報告がなされた。参加者は80国、2500名以上、2006年は南アフリカ連邦共和国で開催予定。ECRでのJ日本医学放射線学会の展示、第64回日医放総会にECRの展示、韓国研究者による講演などについて報告がなされた。

[このページのトップへ戻る](#) ↑